



# 東京2025 デフリンピック サッカーの 観戦者募集!

©JDFA

きこえない・きこえにくい人にとってのオリンピック、  
デフリンピックのサッカー競技がJヴィレッジで開催されます。  
サッカー競技を観戦して選手を応援しませんか。

2025

競技開催日 / **11.14** 金 ・ **25** 火

招待人数 / **2,000名程度**  
※応募多数の場合は抽選となります。

観戦可能日 / **11/14** 金、**17** 月、**18** 火、**19** 水、**20** 木、**21** 金、**25** 火  
(予定) ※日程は大会主催者の都合により変更になる場合があります。

募集期間 / **12.1** 日 ・ **1.15** 水

会場 / **Jヴィレッジスタジアム**

応募方法 : デフリンピック  
下記Webサイトより : について  
お申込みください。 (福島県スポーツ課HP)

参加費 / **無料** ※一部負担あり(昼食等)

観戦対象 / **福島県内の小・中・高校生  
と引率者**

※学校毎のお申し込みとなります。



詳細は募集要項をご覧ください。



ICSDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

第23回夏季デフリンピックサムスン2017 2017年7月18日から30日 トルコ・サムスン市で開催

## デフリンピックってなに？

デフリンピックとは英語で「耳が聞こえない」という意味の「デフ(Deaf)」と「オリンピック」を合わせた名前です。

オリンピックと同様に4年に1度開催されています。

## パラリンピックより歴史の長いデフリンピック

障がい者のスポーツ競技大会として知られているパラリンピックには聴覚障がい者のための競技種目がありません。

また、デフリンピックの歴史はパラリンピックよりも古く1924年に始まりました。2025年11月に開催される「東京2025デフリンピック」は100周年の記念すべき大会で、日本では初めて開催されます。



ユニフォームはサッカー・日本代表と同じ！

©JDFA

## Jヴィレッジでの開催種目デフサッカーとは

### サッカーとデフサッカーのちがい

デフサッカーの基本ルールは聞こえる人のサッカーと同じです。11人のチーム、45分ハーフで試合が行われ、ピッチの広さも同じです。ちがう点は、審判だけです。聞こえる人のサッカーは副審だけがフラッグを使い、主審は笛のみを使いますが、デフサッカーは選手たちに主審の笛の音が聞こえないため、主審もフラッグを使います。国際試合ではさらに両ゴールの後ろに1人ずつ、合計5人のフラッグを持った審判員が、プレーの停止を色々な方向から伝えます。

### 聞こえない中でスポーツをするということ

聞こえる人のスポーツではチームメイト同士の声がかげで状況を判断し、次の動きをとる場合が多いですが、聞こえない人はそのような音の情報が分かりません。したがって、敵・味方の動きに加え、審判やベンチの様子などたくさんの情報を目でとらえて状況を把握し、アイコンタクトやサインでコミュニケーションをとります。目で多くの情報を受け取ることで、目がとっても疲れるそうです。

聞こえる人のサッカーと変わらない速さでパスやシュートが繰り返されるデフサッカー。選手たちの素早いやりとり注目しましょう！

## 参加決定から観戦まで

2025年1月末頃

参加校決定のお知らせ

2025年4月以降

デフリンピック事前学習テキストの配布

聞こえない人や手話等の共生社会について理解を深める内容の学習テキストを配布します。

2025年6月～10月頃

オプション

講師を派遣しデフリンピックや手話の出前授業の受講も可能！



2025年11月 観戦当日

・応援メッセージシートの制作  
・Jヴィレッジで世界の聞こえないアスリートを応援

オプション

観戦前後に浜通りの震災学習施設等の見学を組み込むことも可能！



その他プラン・詳細については下記Webサイトからご確認ください。

